

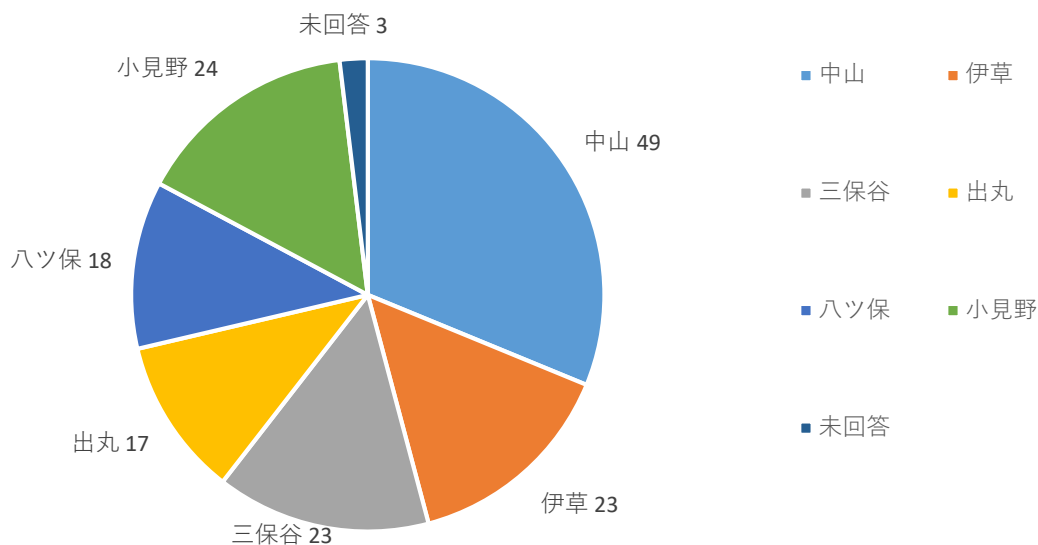
## 自治会アンケートの集計結果について

(アンケート回収率 73.4% (157人/214人))

### 1-1. 目的

この調査は、生活様式の変化や自治会員の高齢化等による役員の担い手不足、コロナ禍による自治会活動の制限などを要因として、自治会離れが全国的な問題となっていることを踏まえ、町における自治会活動の現状や課題、コロナ禍におけるICTの活用状況等を把握し、今後の自治会のあり方を検討する資料とするため、令和2～4年度区長に対して実施したものです。

### 回答者の地区について

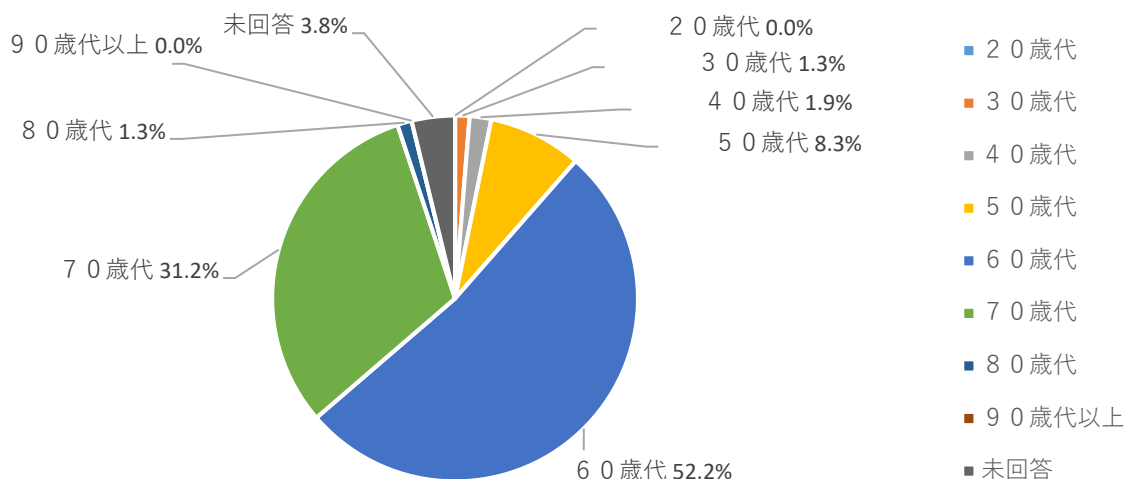


### 1-2. 回答者の属性（年齢、職業）について

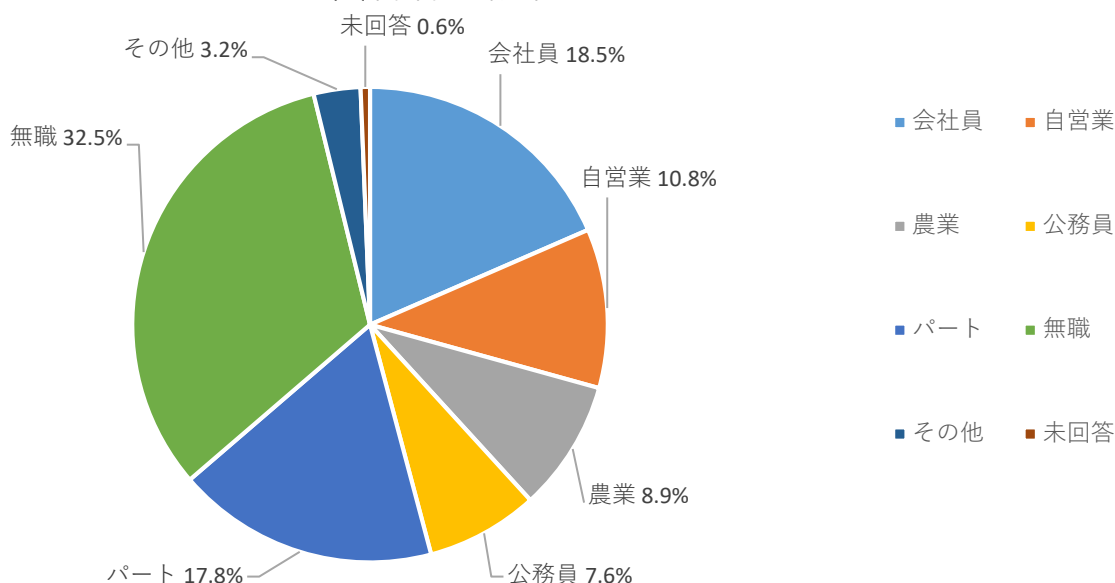
アンケート回答者の年齢、職業は下記のとおりである。

回答者の年齢構成率は、「60歳代」が最も多く、全体の約52.2%を占めており、次いで、「70歳代」が約31.2%となっている。60歳以上が全体の約8割を占める結果となった。

### 回答者の年齢について



## 回答者の職業について



### 2-1. 自治会活動の実施について

自治会活動等についての考えについては、下記のとおりである。

自治会活動について、「実施している、今後も継続して実施すべき」という回答で、最も多かった活動は、美化活動（清掃活動、廃品回収、集積場の管理等）で全体の約96.2%あり、次いで、「自治会費の徴収」が全体の約92.4%、「会議等（総会、役員会議等）」が全体の約86.6%の順に多い結果となった。

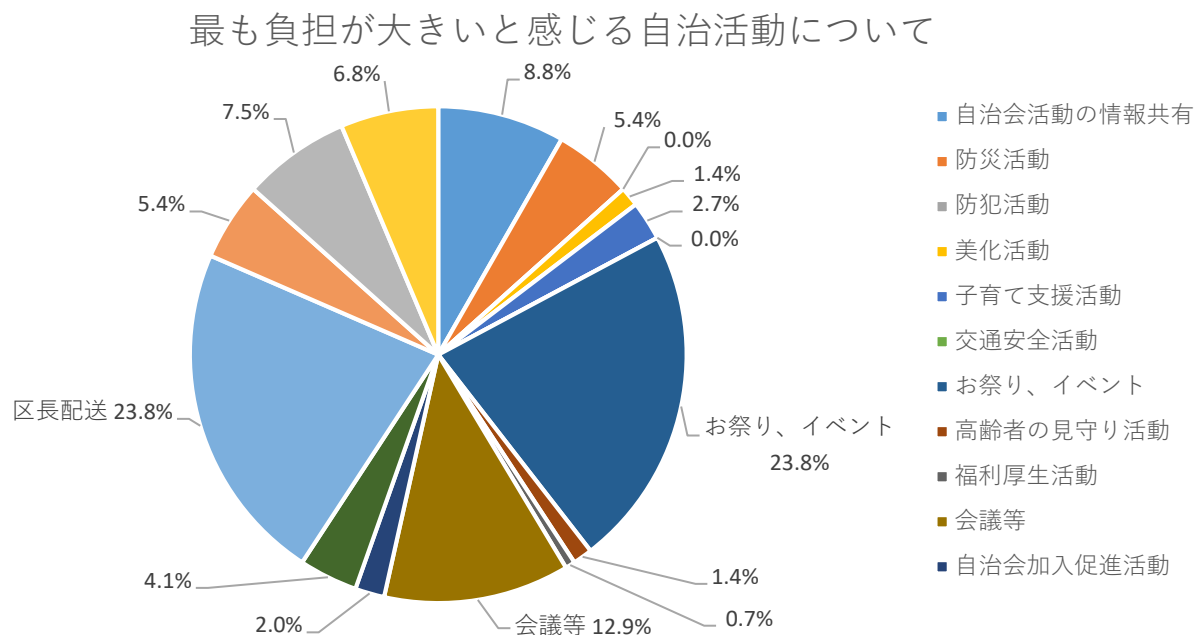
反対に、「実施しているが、今後は実施しない方が良い」という回答が最も多かった活動は、同率で「お祭り、イベントの開催（祭事、運動会等）」、「区長配送（町からの委嘱業務）」が全体の約14.6%と最も多く、次いで、「自治会と町との連絡調整（町からの委嘱業務）」が全体の約10.2%という結果となった。

番号	活動内容	実施している、今後も継続して実施すべき		実施しているが、今後は実施しない方が良い		実施していないが、今後は実施した方が良い		実施していない		未回答		合計
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
①	自治会活動の情報共有（回覧等）※区長配送物を除く	133	84.7%	5	3.2%	4	2.5%	11	7.0%	4	2.5%	157
②	防災活動（地区訓練の実施等）	122	77.7%	12	7.6%	9	5.7%	10	6.4%	4	2.5%	157
③	防犯活動（防犯パトロール等）	98	62.4%	14	8.9%	11	7.0%	32	20.4%	2	1.3%	157
④	美化活動（清掃活動、廃品回収、集積場の管理等）	151	96.2%	4	2.5%	0	0.0%	2	1.3%	0	0.0%	157
⑤	子育て支援活動（親子の居場所づくり等）	21	13.4%	6	3.8%	33	21.0%	83	52.9%	14	8.9%	157
⑥	交通安全活動（交通安全の啓発活動等）	51	32.5%	8	5.1%	18	11.5%	75	47.8%	5	3.2%	157
⑦	お祭り、イベントの開催（祭事、運動会等）	80	51.0%	23	14.6%	21	13.4%	29	18.5%	4	2.5%	157
⑧	高齢者の見守り活動	63	40.1%	5	3.2%	26	16.6%	59	37.6%	4	2.5%	157
⑨	福利厚生（会員への弔意事業等）	58	36.9%	9	5.7%	10	6.4%	67	42.7%	13	8.3%	157
⑩	会議等（総会、役員会議等）	136	86.6%	10	6.4%	2	1.3%	6	3.8%	3	1.9%	157
⑪	自治会加入促進活動（引越してきた方への訪問等）	98	62.4%	8	5.1%	13	8.3%	32	20.4%	6	3.8%	157
⑫	自治会費の徴収（各戸へ徴収事務等）	145	92.4%	10	6.4%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.3%	157
⑬	区長配送（町からの委嘱業務）	131	83.4%	23	14.6%	-	-	-	-	3	1.9%	157
⑭	自治会と町との連絡調整（町からの委嘱業務）	131	83.4%	16	10.2%	-	-	-	-	10	6.4%	157

※網掛けは、上位3項である。

## 2-2. 自治会活動について、役員の負担が最も大きいと感じる活動について

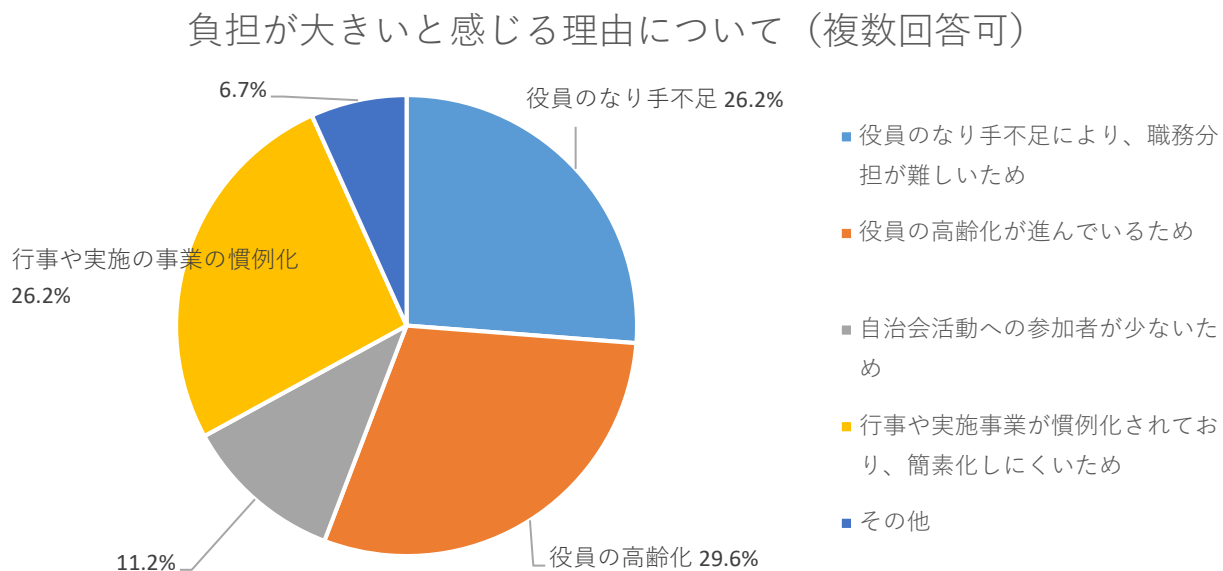
役員の負担が最も大きいと感じる活動は下記のとおりである。



最も負担が大きいと感じる活動は、「お祭り、イベントの開催」と「区長配送」が同率であり、各々が全体の約23.8%ずつを占めている。次いで、「会議等（総会、役員会議等）」が約12.9%を占める結果となった。

## 2-3. 負担が大きいと感じる理由について

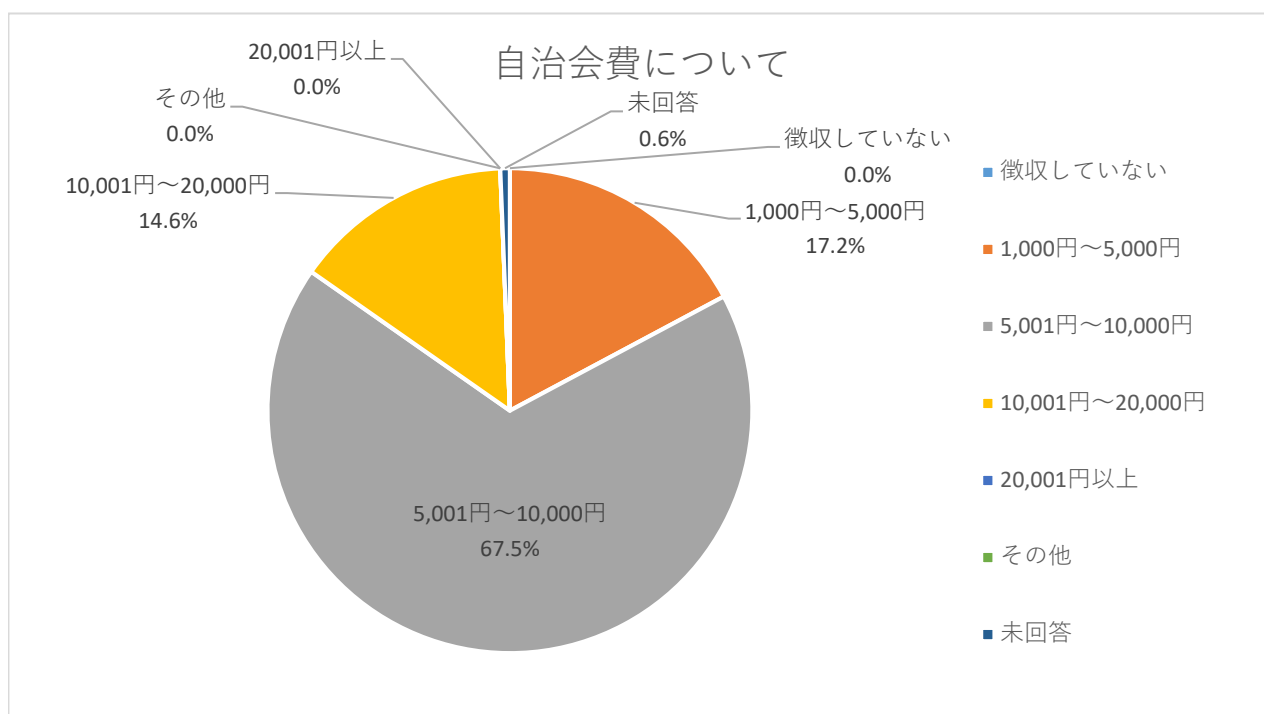
役員の負担が最も大きいと感じる理由は下記のとおりである。



負担が大きいと感じる理由としては、「役員の高齢化が進んでいるため」が、全体の約29.6%を占めており、次いで、「役員のなり手不足により、職務分担が難しいため」と「行事や実施事業が慣例化されており、簡素化がしにくい」が同率の約26.2%を占める結果となった。

## 2-4. 自治会費の額について

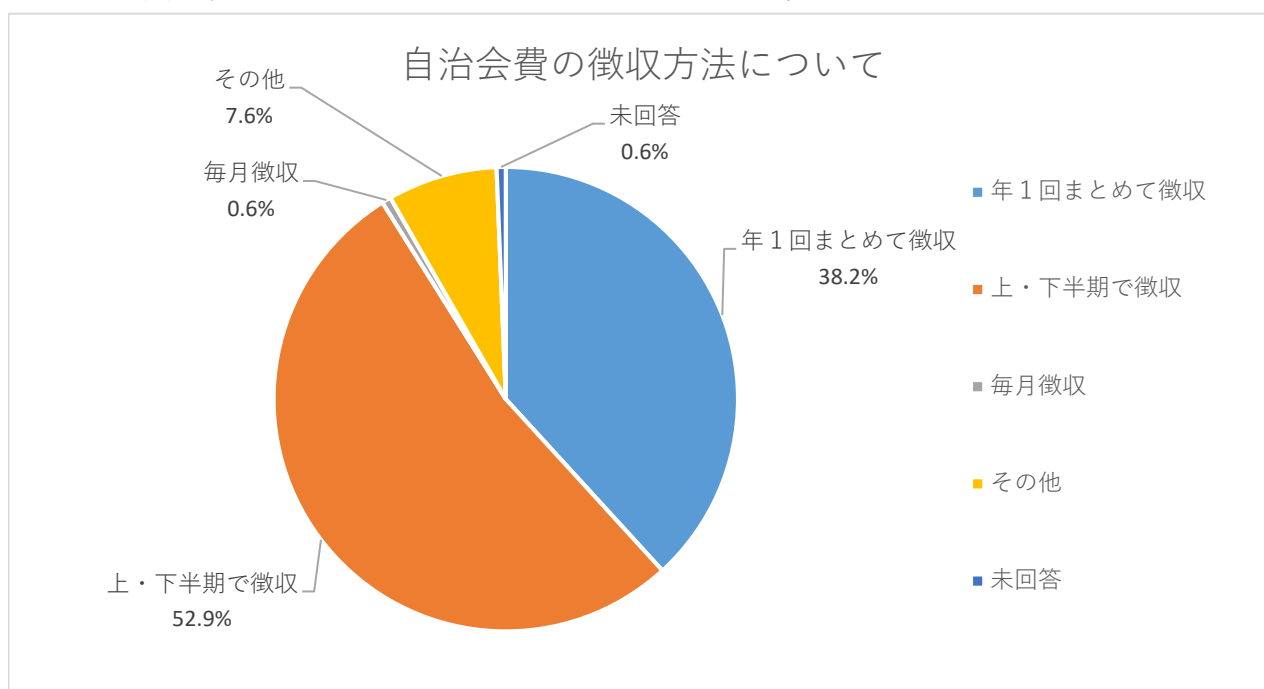
自治会費の額については下記のとおりである。



自治会費については、「5,001円～10,000円」が、全体の約67.5%を占めており、次いで、「1,000円～5,000円」が、全体の約17.2%、「10,001円～20,000円」が全体の約14.6%を占める結果となった。「徴収していない」や「20,001円以上」という回答はなかった。

## 2-5. 自治会費の徴収時期について

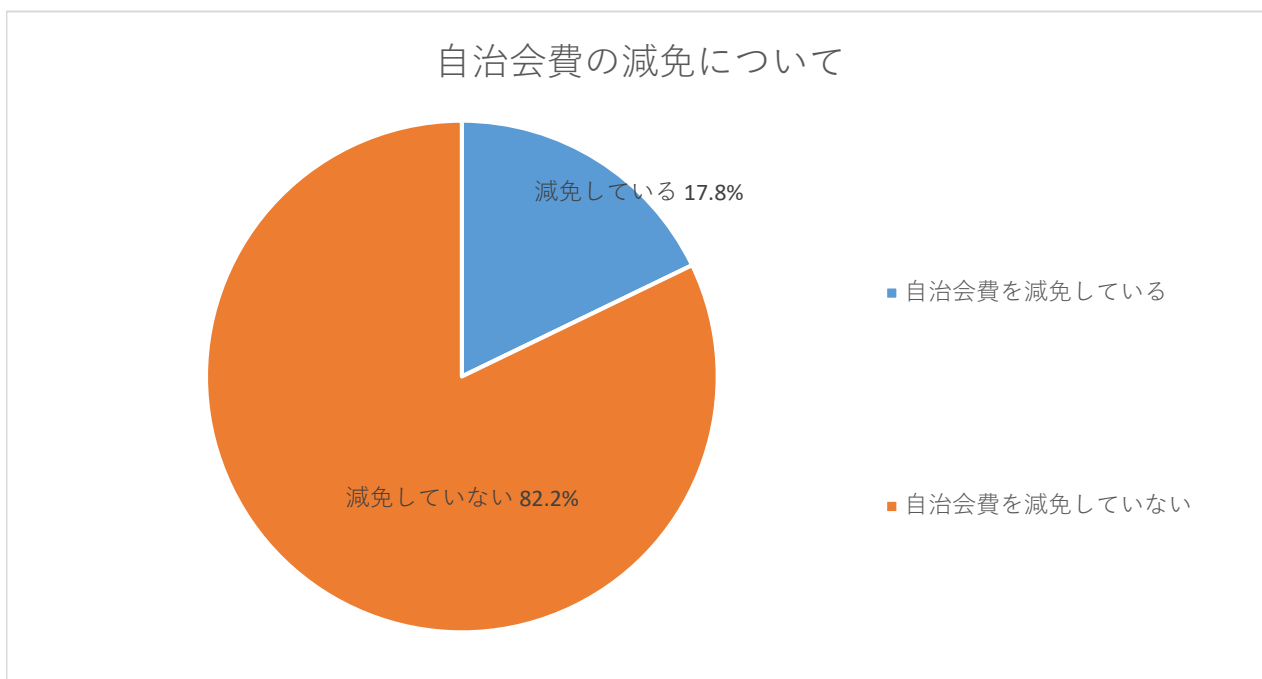
自治会費の徴収方法については下記のとおりである。



自治会費については、「上・下半期で徴収」が、全体の約52.9%を占めており、次いで、「年1回まとめて徴収」が、全体の約38.2%を占める結果となった。

## 2-6. 自治会費の減免について

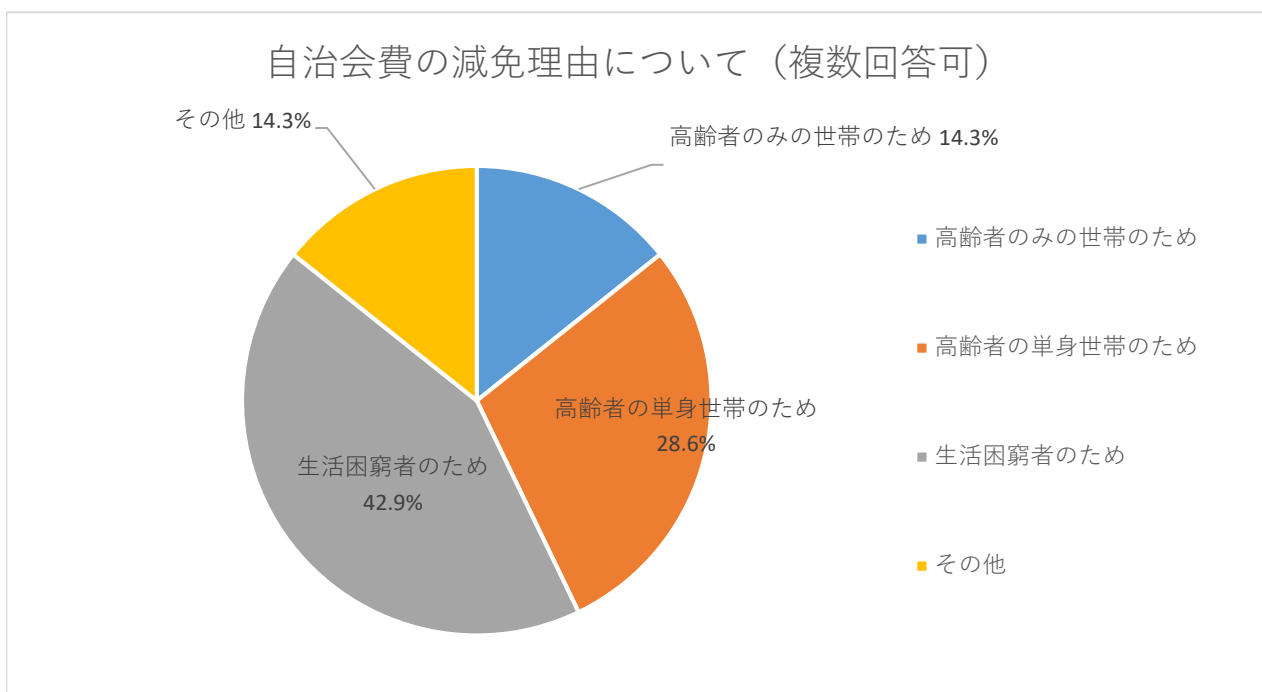
自治会費の減免については下記のとおりである。



自治会費の減免は、「減免している」が、全体の約17.8%を占めており、「減免していない」が、全体の約82.2%を占める結果となった。

## 2-7. 自治会費の減免対象について

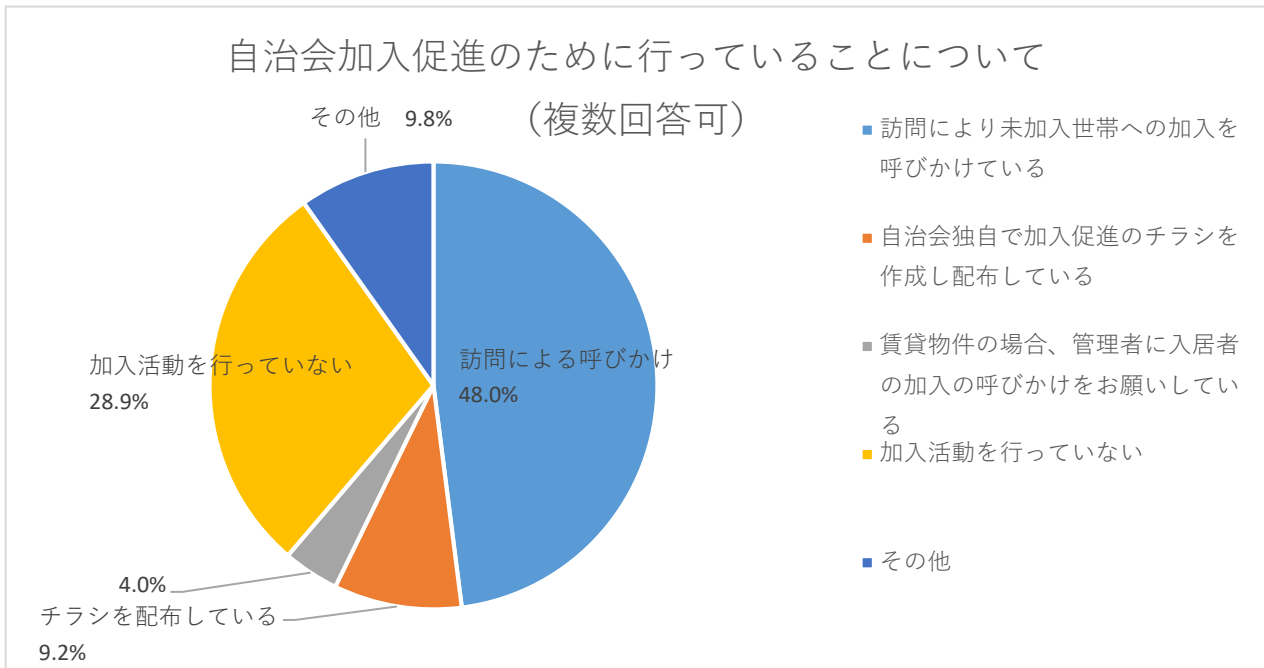
「自治会費を減免している」と回答した者のうち、自治会費の減免理由については下記のとおりである。



自治会費の減免理由は、「生活困窮のため」が、全体の約42.9%を占めており、次いで、「高齢者の単身世帯のため」が、全体の約28.6%を占める結果となった。「その他」については、「入院中のため」や「コロナ禍により事業中止のため」などの理由があった。

## 2-8. 自治会加入促進のために行っていることについて

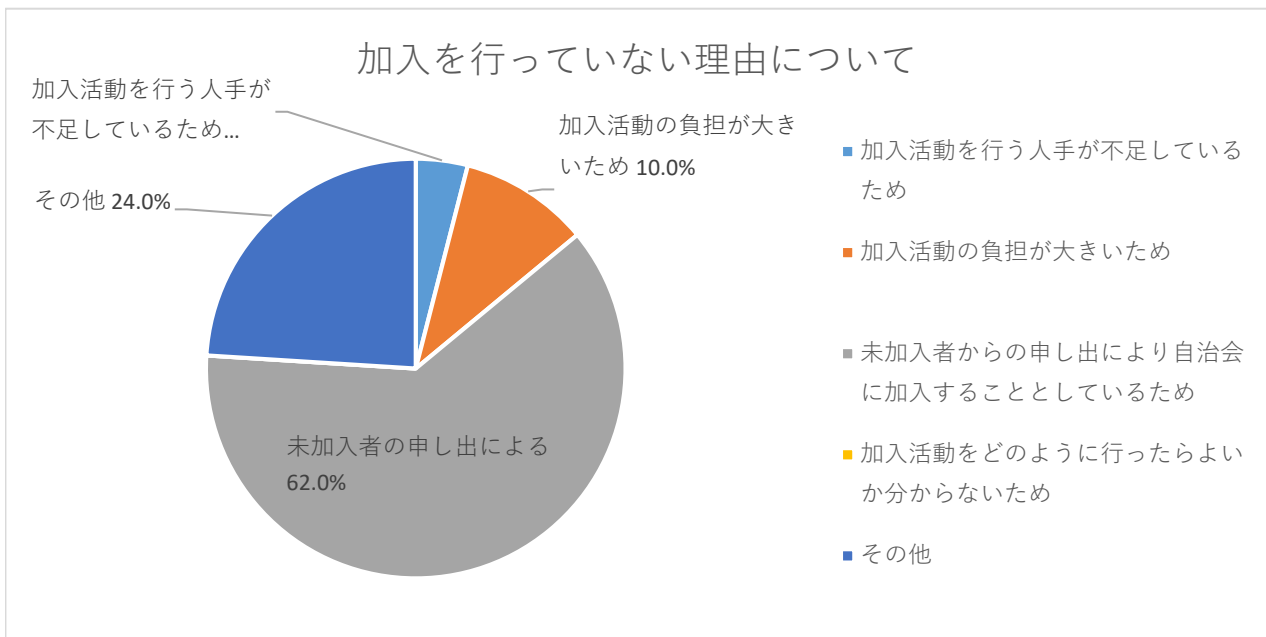
自治会加入促進のために行っていることについては、下記のとおりである。



自治会加入促進のために行っていることは、「訪問により未加入世帯への加入を呼びかけている」が、全体の約48.0%を占めており、次いで、「加入促進を行っていない」が、全体の約28.9%を占める結果となった。「その他」については、「全世帯が加入しているため」などという回答が多くあった。

## 2-9. 自治会加入促進を行っていない理由について

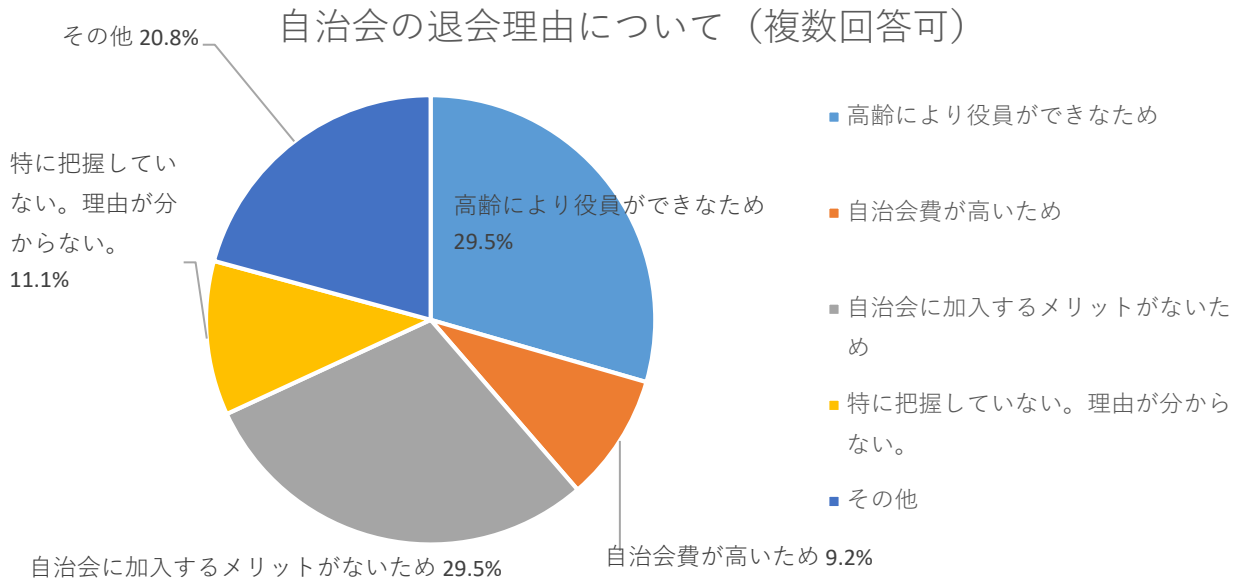
「自治会加入促進を行っていない」と回答した者のうち、自治会加入促進を行っていない理由について、下記のとおりである。



自治会加入促進を行っていない理由としては、「未加入者からの申し出により自治会に加入することとしているため」が、全体の約62.0%を占めており、次いで、「その他」が、全体の約24.0%を占める結果となった。「その他」については、「未加入者がいない」などという回答が多くあった。

## 2-10. 自治会の退会理由について

自治会の退会理由については、下記のとおりである。



自治会の退会理由について、「高齢により役員ができないため」と「自治会に加入するメリットがないため」が同率であり、各々が全体の約29.5%ずつを占めている。「その他」が全体の約20.8%を占めており、主な内容は、「慣例的な行事への反発」、「人間関係のもつれ」などという回答があった。

## 3-1. コロナ禍における自治活動の見直し状況について

コロナ禍における自治会活動の見直しについては、下記のとおりである。

コロナ禍における自治会活動について、「コロナ禍で効率化、簡素化した活動」として、回答で最も多かった活動は、「会議等（総会、役員会議等）」で全体の約52.6%であり、次いで、「防災活動（地区訓練の実施等）」が全体の約35.9%、「美化活動（清掃活動、廃品回収等）」が全体の約30.8%の順に多い結果となった。

「コロナ禍で中止、廃止した活動」として、回答で最も多かった活動は、「お祭り、イベントの開催（祭事、運動会等）」で全体の約61.5%であり、次いで、「会議等（総会、役員会議等）」で全体の約25.6%、「防災活動（地区訓練の実施等）」が全体の約24.4%の順に多い結果となった。

3-1 自治会活動について、効率化や簡素化した活動や中止や廃止した活動について

番号	活動内容	コロナ禍で効率化、簡素化した活動		コロナ禍で中止、廃止した活動	
		件数	割合	件数	割合
①	自治会活動の情報共有（回覧等）※区長配送物を除く	15	19.2%	3	3.8%
②	防災活動（地区訓練の実施等）	28	35.9%	19	24.4%
③	防犯活動（防犯パトロール等）	15	19.2%	13	16.7%
④	美化活動（清掃活動、廃品回収等）	24	30.8%	18	23.1%
⑤	子育て支援活動（親子の居場所づくり等）	5	6.4%	14	17.9%
⑥	交通安全活動（交通安全の啓発活動等）	8	10.3%	11	14.1%
⑦	お祭り、イベントの開催（祭事、運動会等）	16	20.5%	48	61.5%
⑧	高齢者の見守り活動	10	12.8%	7	9.0%
⑨	福利厚生（会員への弔意事業等）	11	14.1%	14	17.9%
⑩	会議等（総会、役員会議等）	41	52.6%	20	25.6%
⑪	自治会加入促進活動（引越してきた方への訪問等）	10	12.8%	7	9.0%
⑫	自治会費の徴収（各戸へ徴収事務等）	21	26.9%	1	1.3%
⑬	区長配送（町からの委嘱業務）	13	16.7%	1	1.3%
⑭	自治会と町との連絡調整（町からの委嘱業務）	15	19.2%	1	1.3%

※網掛けは、上位3項である。

### 3-2. コロナ禍で見直した活動の今後について

「コロナ禍で効率化、簡素化した活動」や「コロナ禍で中止、廃止した活動」のうち、「見直し前に戻す活動」として、「会議等(総会、役員会議等)」は全体の約49.2%、「防災活動(地区訓練の実施等)」が全体の約51.1%、「美化活動(清掃活動、廃品回収等)」が全体の約66.7%という結果となった。

また、「見直し前に戻すか検討中の活動」として、「会議等(総会、役員会議等)」は全体の32.8%、「防災活動(地区訓練の実施等)」が全体の約25.5%、「美化活動(清掃活動、廃品回収等)」が全体の約11.9%という結果となった。

「コロナ禍で中止、廃止した活動」として、回答が最も多かった活動の「お祭り、イベントの開催(祭事、運動会等)」は、「見直し前に戻す活動」として、全体の約45.3%、「見直し前に戻すか検討中の活動」として、全体の約37.5%の回答があった。

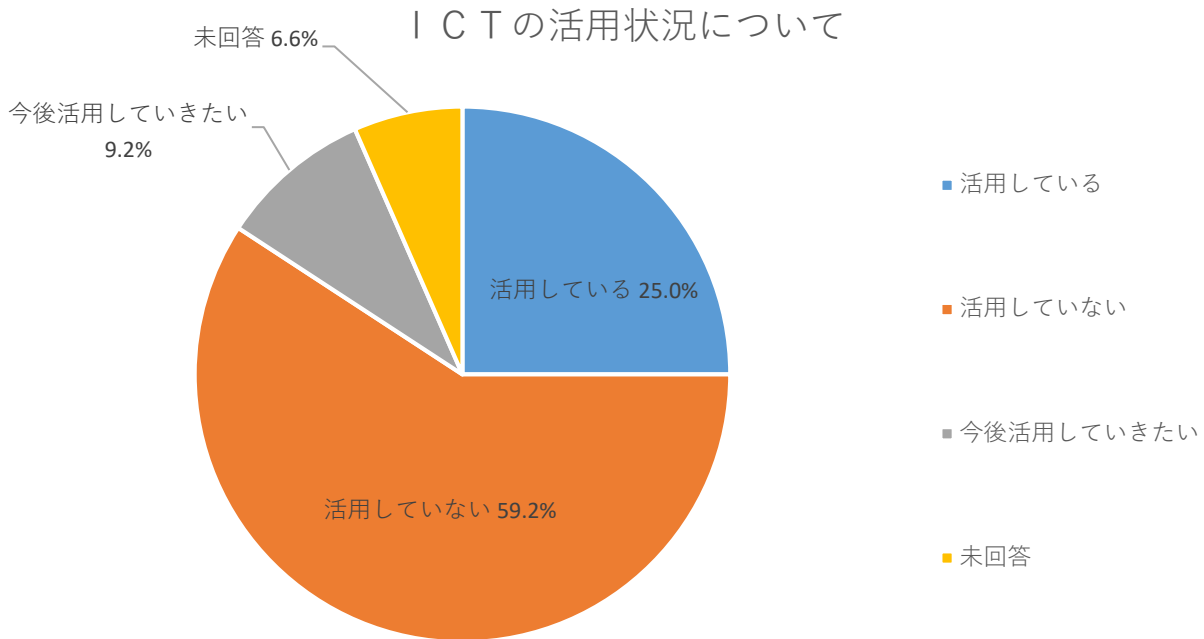
3-2 効率化や簡素化、中止や廃止した自治会活動について

番号	活動内容	見直し前に戻す活動		見直し前に戻すか検討中の活動		未回答	
①	自治会活動の情報共有(回覧等) ※区長配送物を除く	10	55.6%	2	11.1%	6	33.3%
②	防災活動(地区訓練の実施等)	24	51.1%	12	25.5%	11	23.4%
③	防犯活動(防犯パトロール等)	15	53.6%	6	21.4%	7	25.0%
④	美化活動(清掃活動、廃品回収等)	28	66.7%	5	11.9%	9	21.4%
⑤	子育て支援活動(親子の居場所づくり等)	4	21.1%	4	21.1%	11	57.9%
⑥	交通安全活動(交通安全の啓発活動等)	6	31.6%	4	21.1%	9	47.4%
⑦	お祭り、イベントの開催(祭事、運動会等)	29	45.3%	24	37.5%	11	17.2%
⑧	高齢者の見守り活動	3	17.6%	6	35.3%	8	47.1%
⑨	福利厚生(会員への弔意事業等)	11	44.0%	8	32.0%	6	24.0%
⑩	会議等(総会、役員会議等)	30	49.2%	20	32.8%	11	18.0%
⑪	自治会加入促進活動(引越してきた方への訪問等)	4	23.5%	4	23.5%	9	52.9%
⑫	自治会費の徴収(各戸へ徴収事務等)	13	59.1%	2	9.1%	7	31.8%
⑬	区長配送(町からの委嘱業務)	7	50.0%	3	21.4%	4	28.6%
⑭	自治会と町との連絡調整(町からの委嘱業務)	8	50.0%	2	12.5%	6	37.5%



#### 4-1. ICTの活用状況について

ICTの活用状況については、下記のとおりである。



自治会活動において、「ICTを活用している」と回答した方は、全体の約25.0%であり、「ICTを活用していない」と回答した方は、全体の約52.9%を占める結果となった。

#### 4-2. 活用しているICTについて

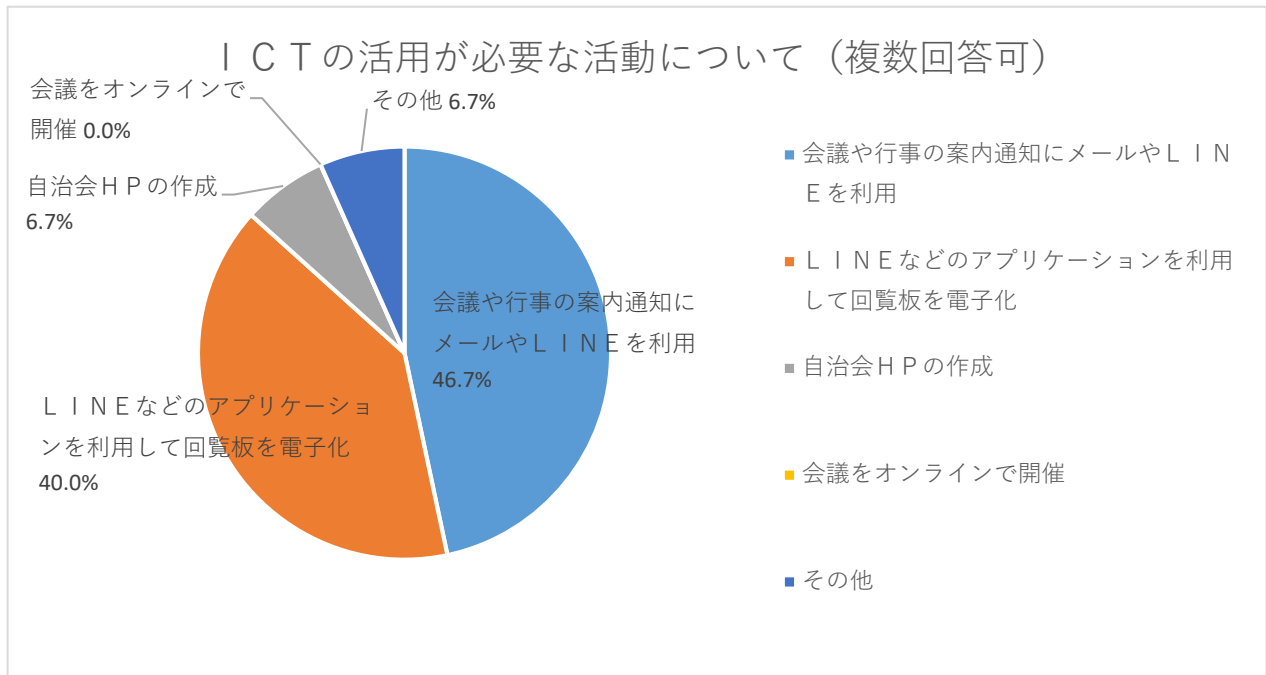
「ICTを活用している」と回答した者のうち、具体的に活用しているICTについては、「LINEやショートメールを作成し、会員間の状況共有に使用している」などという回答が多くあった。

#### 4-3. ICTを活用していない理由について

「ICTを活用していない」と回答した者のうち、ICTが進まない理由については、会員が「ICTに関して理解が不足している」ことや「インターネット環境が整っていない」などということを経由とした回答が多くあった。

#### 4-4. ICTの活用が必要な活動について

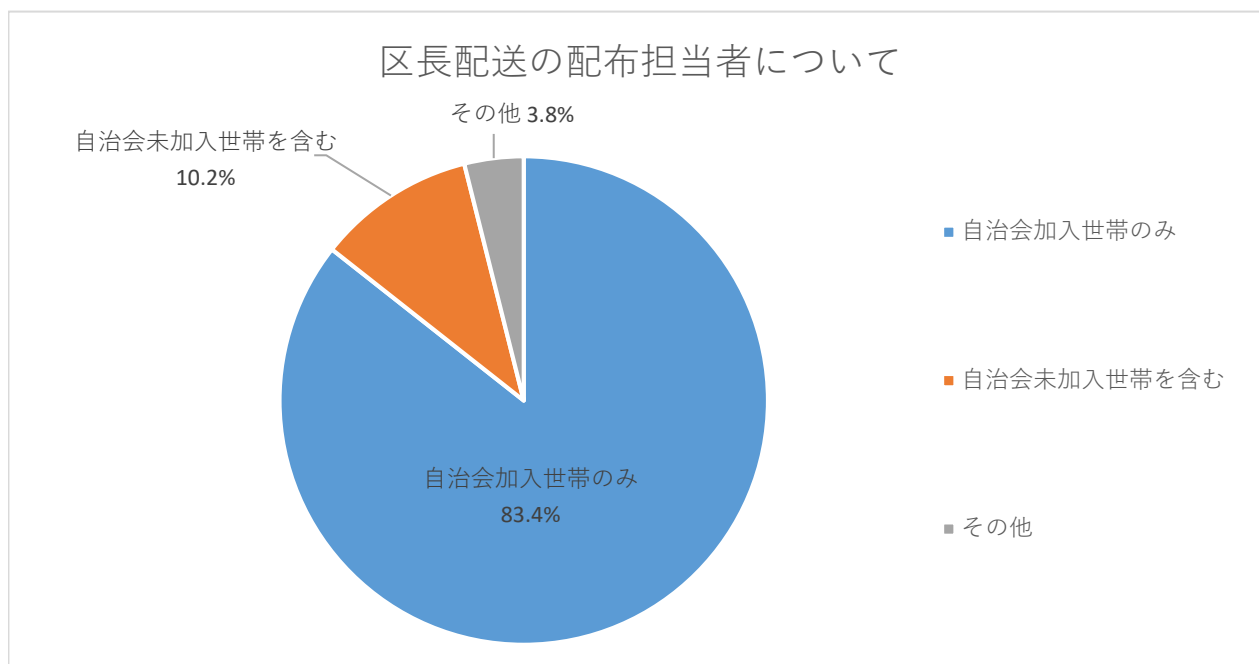
「今後、活用していきたい」と回答した者のうち、ICTの活用が必要だと考える活動は、下記のとおりである。



自治会活動について、ICTの活動が必要だと考える活動として、「会議や行事の案内通知にメールやLINEを利用」が全体の約46.7%を占め、「LINEなどのアプリケーションを利用して回覧板を電子化」が全体の約40.0%を占める結果となった。

## 5-1. 区長配送の配布対象者について

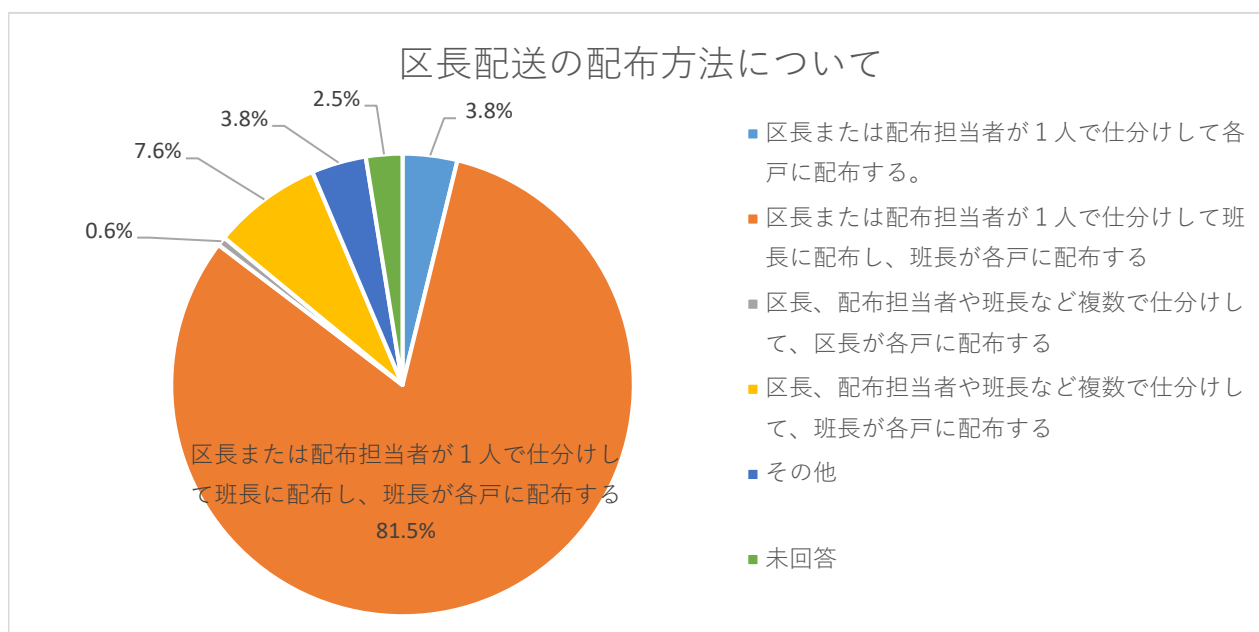
区長配送の配布対象者については、下記のとおりである。



区長配送の配布対象者について、「自治会加入世帯のみ」が全体の約83.4%、「自治会未加入者世帯を含む」が全体の約10.2%、「その他」が全体の約3.8%を占める結果となった。「その他」の主な内容は、「未加入世帯のうち、一部の高齢者世帯に対して配布している」などという回答が多くあった。

## 5-2. 区長配送物の配布方法について

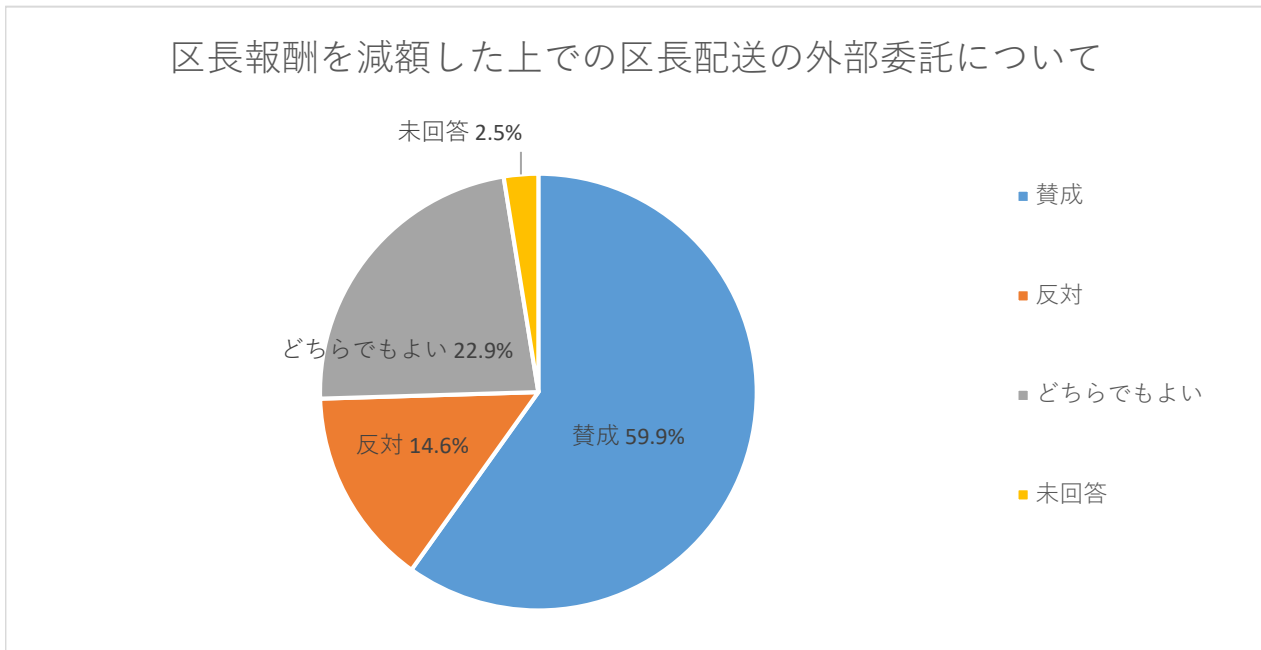
区長配送の配布対象者については、下記のとおりである。



区長配送の配布方法について、「区長または配布担当者が1人で仕分けして班長に配布し、班長が各戸に配布する」が全体の約81.5%を占める結果となった。

### 5-3. 区長配送をポスティングによる全戸配布とすることについて

区長報酬を減額した上で、区長配送をポスティングによる全戸配布とすることの賛否については、下記のとおりである。



区長配送をポスティングによる全戸配布に変更することについて、「賛成」が59.9%、「反対」14.6%、「どちらでもよい」が22.9%という結果となった。

### 5-4. 5-3. で回答した理由について

「賛成」の方の意見としては、「役員の負担軽減になるため」という意見が多く挙がっていた。

一方、「反対」の方の意見としては、区長配送を「区長と班長とのコミュニケーションが取れる機会」や「配送時に高齢者の声かけができる」などの住民間の交流の場と考えており、業務委託にすることで、地域の連帯感などが失われることへの懸念が意見としてありました。

「どちらでもよい」の方の意見としては、ポスティングの費用対効果や配送物の量の軽減、配送方法の検討（全戸配布ではなく回覧で良いのでは）を行う必要があるという意見であった。

### 5-5. 区長配送に関する意見・要望について

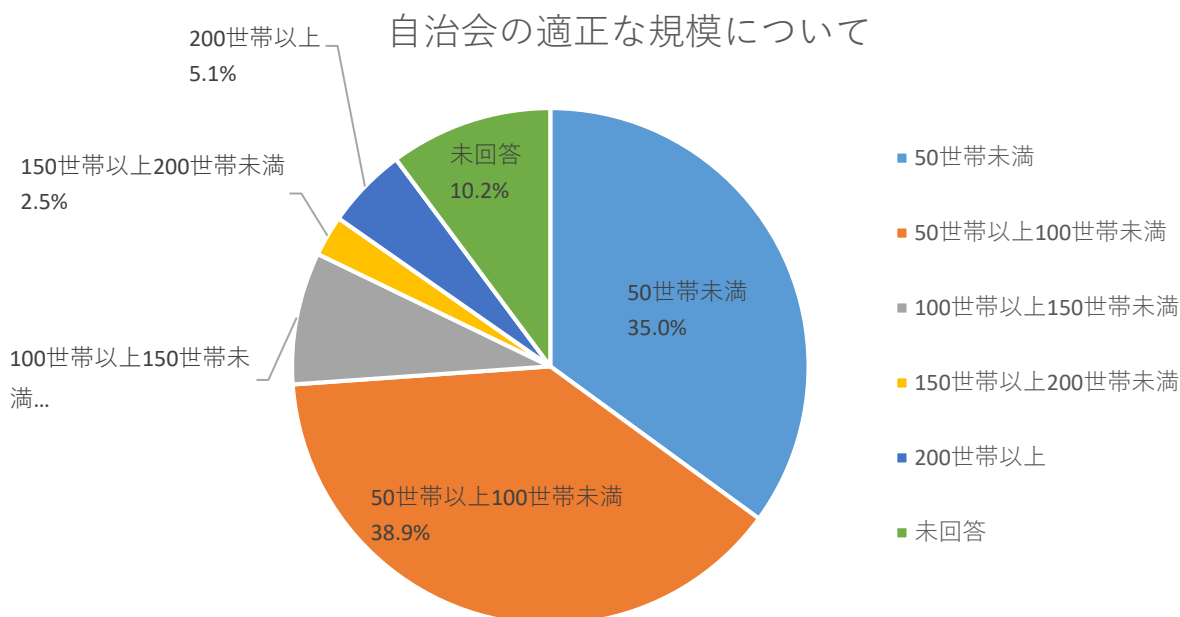
区長配送に関する意見・要望については、主に「配布物の内容や数量を削減し、ペーパーレスを推進する必要がある」といった意見や「外部委託をしたときに自治会に加入しているメリットがますます無くなる」といった意見が多くありました。

### 5-6. 区長配送を除く自治会配布物について

区長配送を除き、自治会で配布している配布物としては、「自治会だより」や「自主防災だより」、「公民館だより」、「学校だより」などの広報関係書類の他、神社関係、農協関係の配布物が多くあった。

### 6-1. 自治会（行政区の再編）について

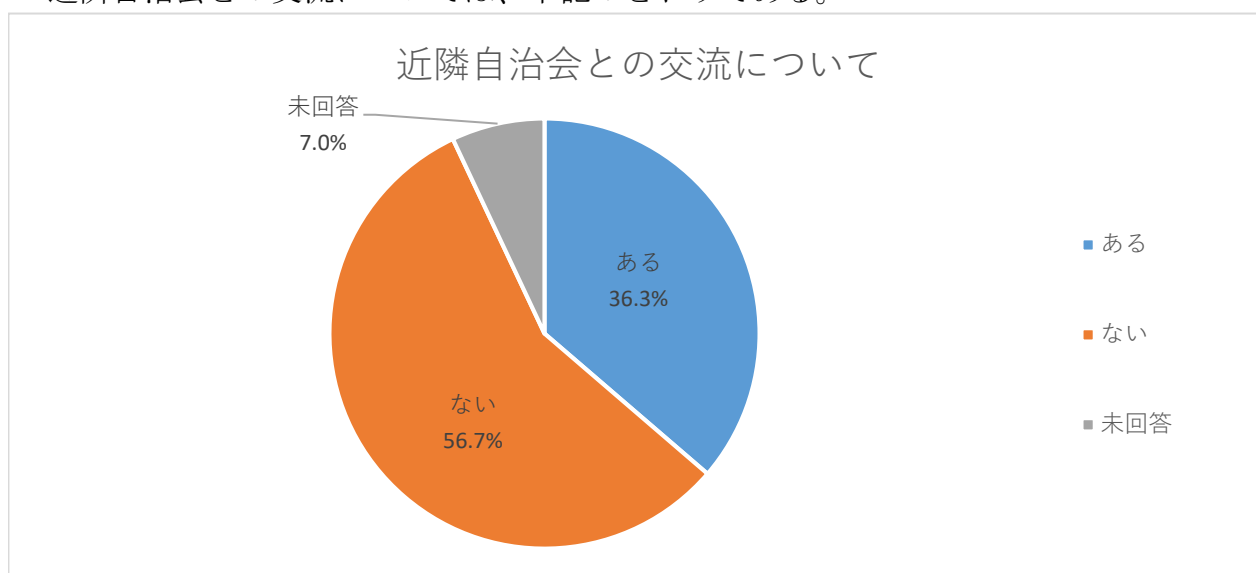
自治会活動をする上で、適切な規模については、下記のとおりである。



自治会活動をする上で、適切な規模は、「50世帯以上100世帯未満」が全体の約38.9%、「50世帯未満」が全体の約35.0%を占める結果となった。

### 6-2. 近隣の自治会と交流があるかについて

近隣自治会との交流については、下記のとおりである。



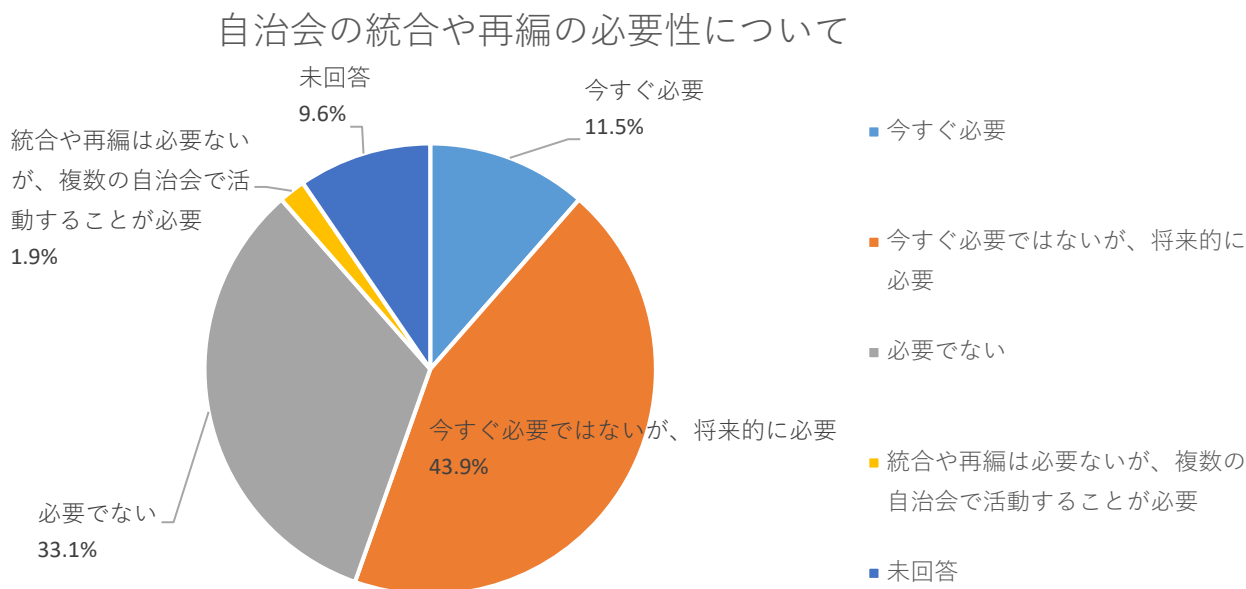
近隣自治会との交流について、「ある」が全体の約36.3%、「ない」が全体の約56.7%を占める結果となった。

### 6-3. 交流がある活動について

「お祭り、イベントの開催（祭事、運動会等）」が、多くの自治会で、交流関係にあった。

#### 6-4. 自治会の統合や再編の必要性について

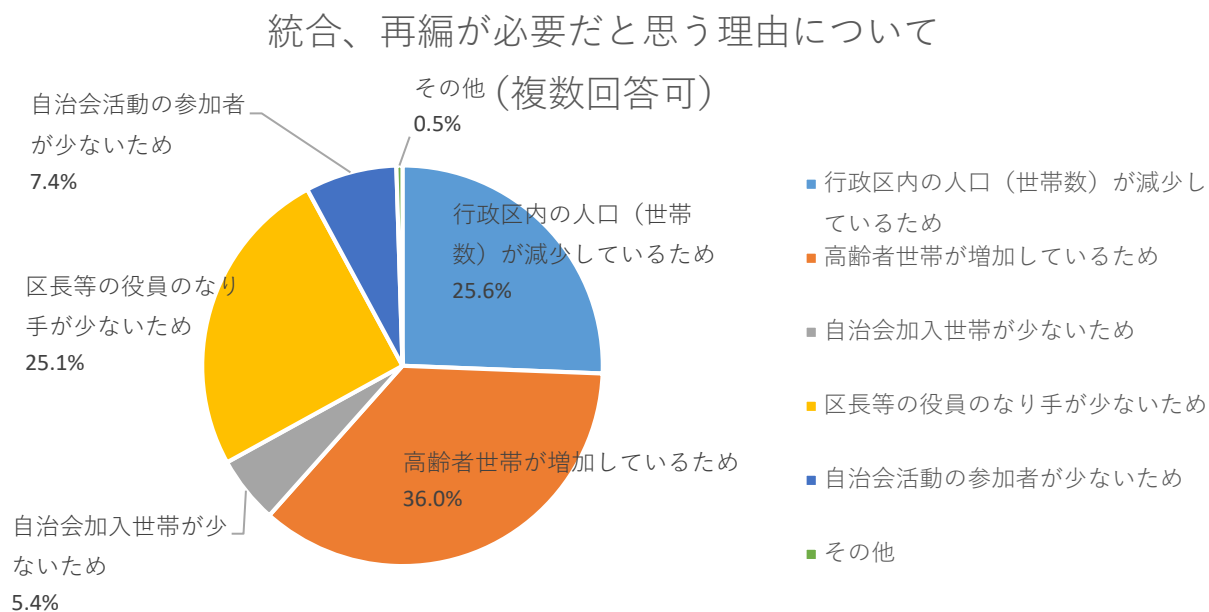
自治会の統合や再編の必要性については、下記のとおりである。



自治会の統合や再編の必要性について、「必要」との回答（「今すぐ必要」と「今すぐ必要ではないが、将来的に必要」）が全体の約55.4%を占め、「必要でない」が全体の約33.1%占める結果となった。

#### 6-5. 自治会の統合や再編が必要だと思う理由について

自治会の統合や再編の必要性について、「今すぐ必要だと思う」、「今すぐ必要ではないが、将来的に必要だと思う」と回答した者のうち、自治会の統合や再編が必要だと思う理由については、下記のとおりである。



「必要だと思う」と回答した方の理由としては、「高齢者世帯が増加しているため」が全体の約36.0%、次いで、「行政区内の人口（世帯数）が減少しているため」が全体の約25.6%、「区長等の役員のなり手が少ないため」が、全体の約25.1%を占めている。

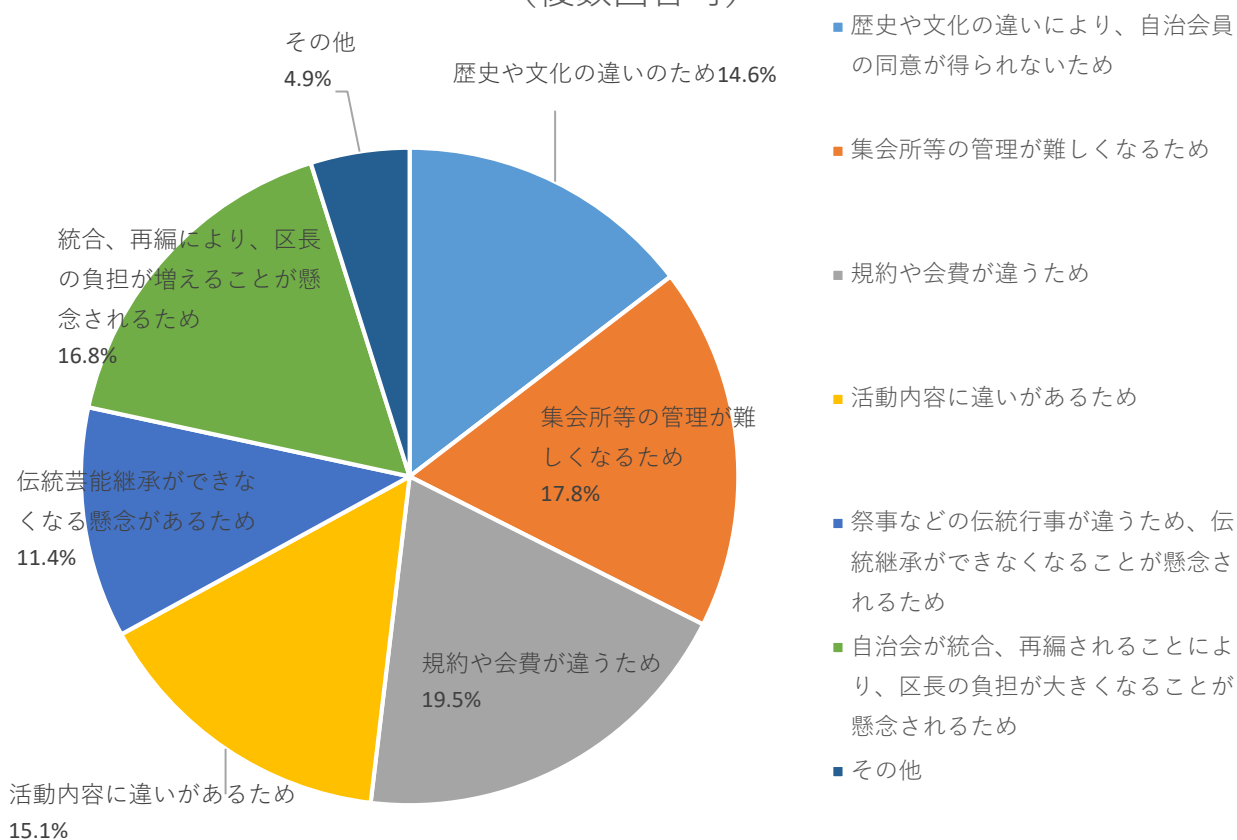
## 6-6. 統合、再編に対する合意形成について

自治会の統合や再編の必要性について、「今すぐ必要だと思う」、「今すぐ必要ではないが、将来的に必要だと思う」と回答した者のうち、自治会を統合、再編する場合、自治会員から賛同が得られない要因については、「自治会古来の伝統やしきたりから賛同が得られないのではないか」という意見や「統合することで、役員の活動範囲や活動時間が増えることに繋がるのではないか」などという意見があった。

## 6-7. 自治会の統合や再編が必要ないと思う理由について

自治会の統合や再編の必要性について、「必要ではないと思う」と回答した者のうち、自治会の統合や再編が必要ないと思う理由については、下記のとおりである。

統合、再編が必要でないと思う理由について  
(複数回答可)



「必要ではないと思う」と回答した方の理由としては、「規約や会費が違うため」が全体の約19.5%、次いで、「集会所の管理が難しくなるため」が全体の約17.8%、「自治会が統合、再編されることにより、区長等の役員の負担が大きくなる懸念があるため」が、全体の約16.8%を占めている。

#### 6-8. 自治会活動を複数の自治会で行うことが必要である理由について

自治会の統合や再編の必要性について、「統合や再編をする必要はないが、自治会活動を複数の自治会で行うことが必要だと思う」と回答した者のうち、統合や再編をする必要はないが、自治会活動を複数の自治会で行うことが必要だと思う理由について、「各自治会の区長、班長にて連絡を取り合い、各自治会の意思疎通をはかっていくことが重要だと思う」という意見や「近隣自治会の同士で活動できる行事があれば相互補助及び交流が必要」などという意見があった。

#### 6-9. 自治会の統合や再編に関する意見について

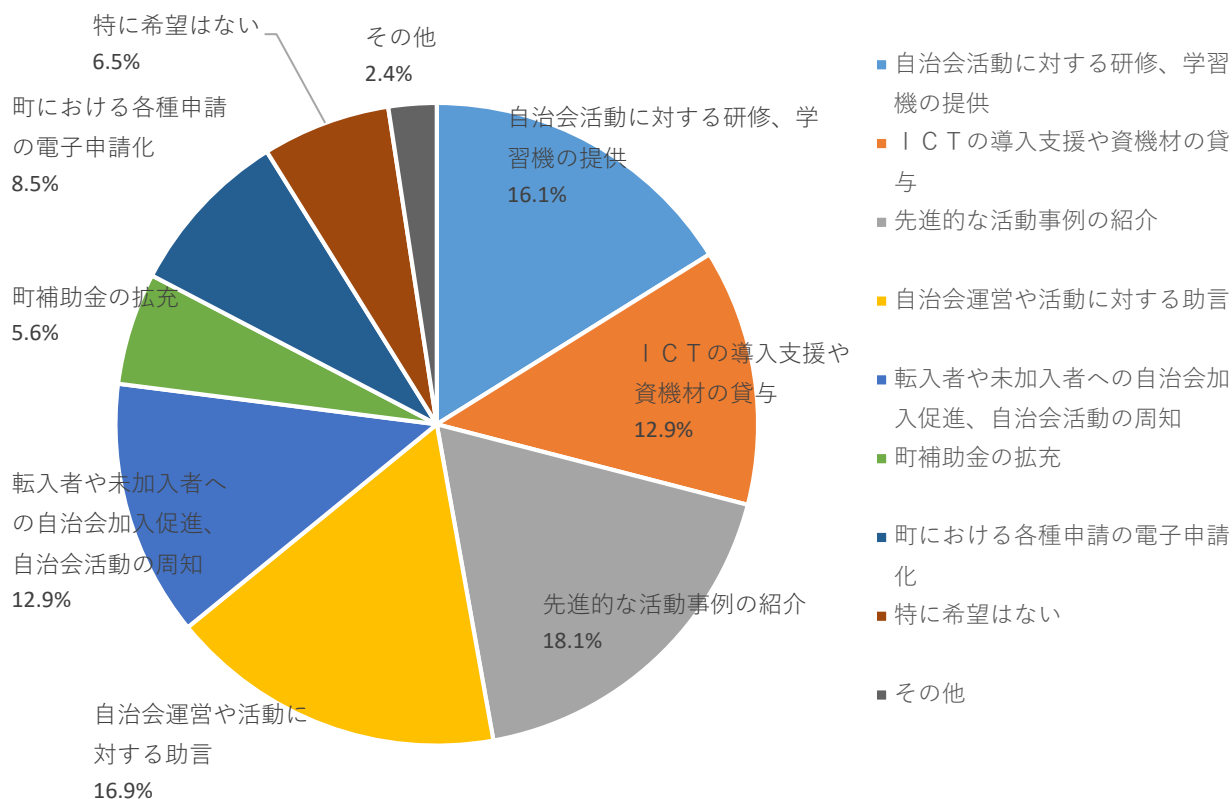
自治会の統合や再編について、「人口減少、少子高齢化が進展する中、これまで通りの活動ができなくなってくるのが、将来的に予想されるので、自治会の統合は将来的に必要になると思われる。それを見越して可能な準備を進めていくことが必要だと思う」といった意見や「統合を実施し、うまく機能している自治体の取り組み事例を知りたい。また、想定外の問題が発生した事例など。旧住民間だとまとまりがあるが、他自治会との統合となるとお互いの従事のやり方を変える必要があり、ある程度行政がかかわらないと自治会間だけではまともまらない」、「将来的に統合が必要と思うが、賛同者を増やすためにまず、近隣の自治どうじの交流を進めることが必要と思う」などといった意見があった。



### 7-1. 自治会活動を行う上での町からの支援について

自治会活動を行う上で、町からどのような支援を希望するかについては、下記のとおりである。

希望する町からの支援について（複数回答可）



町から希望する支援について、「先進的な活動事例の紹介」が全体の18.1%で最も多く、次いで、「自治会運営や活動に対する助言」が全体の16.9%、「自治会活動に対する研修、学習機会の提供」が全体の16.1%を占める結果となった。

### 7-2. その他、自治会に関する意見等について

その他、自治会に関する意見等については、慣例による行事の見直し、区長の負担軽減、ICT関連のインフラ整備が必要であるといった意見や自治会に加入するメリットを感じるような活動の推進、集積場の管理の見直しを求める意見がありました。